

9月16日(水曜日)「敵を愛せ(3)」

【新改訳 2017】

ルカ 6.32

「自分を愛する者を愛したからといって、あなたがたに何の良
いところがあるでしょう。罪人たちでさえ、自分を愛する者を
愛しています。」

主はここで、キリスト者の愛は、当たり前以上の愛でなければならぬと教えています。自分を愛する者を愛することは当然のことであり、それは何の手柄になることも、特別に恵みをもたらすこともないのです。それは罪人たちでさえすることです。キリストの弟子たる者の愛は、それ以上のものでなければならぬと言われたのです。

実は、ギリシャ語では、愛にも種類があります。エロース(一般に欲望の愛)、フィリア(自然発生的愛、人情、友愛、信愛)、ストルゲー(主に肉親愛)、アガペー(愛、いつくしみ、相手を尊敬する愛、そして神の愛)などです。敵を愛する愛はアガペーの愛です。その最たる例は、イエス・キリストの十字架上の身代わりの受刑です。ご自分を犠牲に

して私たちを救ってくださる愛です。

～祈り～

主よ。当り前の愛を表すことすら難しい者です。どうか、あなたの愛をいただき、自分を愛してくれない人をも愛することができますように。

【学びのために】

いろいろな種類または性質の愛があることを知り、また、識別することが大切です。